

参加者の有無を確認する公募手続きに係る参加意思確認書の提出を求める公示

令和4年6月24日

長島ダム管理所長 松村 昭洋

次のとおり、参加意思確認書の提出を招請します。

1. 当該招請の主旨

本件は、中部地方整備局長島ダム管理所の既設の長島ダム常用放流設備2号主ゲート（以下「当該設備」という）の修繕工事に関する公示である。

対象となる修繕工事は、既設設備の機能・性能に影響を及ぼすものであり、修繕により当該設備内の他の部分への影響や一部設備更新による接続要件のすり合わせなどの検討や対策を含むものである。

既設設備は、当事務所の工事目的を達成するために必要な「機能・性能」を定めた仕様書等により、当初受注者が独自に開発・設計・製作・据付したもので、製作段階で当初受注者固有の構造・形状となっており、装置形状や構成が独自の製品を含み、接続条件や動作条件が独自の要件となっており一体化された設備である。

よって、本修繕工事は、当該設備の当初受注者を契約の相手方（以下、「特定予定者」という）とし契約手続きを行う予定としているが、特定予定者以外の者で以下の応募要件を満たし、当該設備の修繕工事の契約を希望する者の有無を確認する目的で、参加意思確認書を招請する公募を実施するものである。

なお、3. の応募要件を満たすと認められる者（以下、「応募認定者」という。）がいる場合にあっては、一般競争入札（企業能力評価型）にて調達を実施するものとする。

また、必要により参加意思確認書の内容確認ヒアリングを実施する場合がある。

2. 工事概要

- (1) 工事件名 令和4年度 長島ダム主放流設備修繕工事
- (2) 工事内容 既設の長島ダム常用放流設備2号主ゲートにかかる修繕工事を行うこと。
なお、詳細は「工事説明書」を参照のこと。
- (3) 対象設備 別紙1「対象設備一覧表」参照。

3. 応募要件

参加意思確認書の提出者に付す応募要件は次のとおりとする。

(1) 基本的要件

- ① 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- ② 中部地方整備局（港湾空港関係を除く。）の令和3・4年度一般競争（指名競争）入札参

加資格業者のうち機械設備工事に認定されている者であること。

- ③ 会社更生法に基づき、更正手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（競争参加資格に関する公示に基づき②の競争参加資格を継続する為に必要な手続きを行った者を除く。）でないこと。
- ④ 中部地方整備局長から指名停止を受けている期間中でないこと。
- ⑤ 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- ⑥ 建設業法に基づく本店、支店又は営業所が中部地方整備局管内に所在すること。

(2) 実績に関する要件

平成19年度以降に元請けとして、引渡が完了した当該設備と同種の設備を新設、改造、更新、又は修繕した工事实績を有すること（詳細は「工事説明書」参照）。

(3) 配置予定技術者について

次に掲げる基準を満たす監理技術者又は主任技術者（以下「技術者」という。）を当該工事に配置できること。

① (ア) 監理技術者を配置する場合は、以下に示すいずれかの資格を有する者であること。

- ・ 1級土木施工管理技士の資格を有する者
- ・ 1級建築施工管理技士の資格を有する者
- ・ 1級建築士の資格を有する者
- ・ 技術士（建設部門（選択科目を「鋼構造及びコンクリート」とするものに限る。）、総合技術監理部門（選択科目を「建設－鋼構造及びコンクリート」とするものに限る。））の資格を有する者
- ・ これらと同等以上の資格を有するものと国土交通大臣が認定した者（建設業法第15条第2号ハ該当「建設省告示第128号（平成元年1月30日）最終改正：平成12年12月12日 建設省告示第2345号」を参照）
- ・ 1級土木施工管理技士又は1級建築施工管理技士の合格を通知されている者のうち、合格証明書が交付されていない者（合格通知から6ヵ月以内に限る。）

(イ) 主任技術者を配置する場合は、(ア)に示す要件に該当する者、もしくは、以下に示すいずれかの資格を有する者であること。

- ・ 2級土木施工管理技士（種別－土木）の資格を有する者
- ・ 2級建築施工管理技士（種別－躯体）の資格を有する者
- ・ 登録橋梁基幹技能者講習を修了した者（「国土交通省告示第435号（平成30年3月15日）」を参照）
- ・ 建設業に係る建設工事（鋼構造物工事）について、土木工学（農林土木、鉱山土木、森林土木、砂防、治山、緑地又は造園に関する学科を含む。）、建築学、機械工学に関する学科を卒業後、以下の実務経験を有する者であること。
 - a. 高等学校（旧中学校令による実業学校を含む）、専修学校専門課程 5年以上
 - b. 高等専門学校（旧専門学校令による専門学校を含む）、専門士 3年以上
 - c. 大学（旧大学令による大学を含む）、高度専門士 3年以上
- ・ 建設業に係る建設工事（鋼構造物工事）に関し10年以上実務の経験を有する者

- ・これらと同等以上の資格を有するものと国土交通大臣が認定した者
 （「建設業法施行規則第 7 条の三」及び「国土交通省告示第 1424 号（平成 17 年 12 月 16 日）最終改正：平成 28 年 5 月 17 日 国土交通省告示第 746 号」を参照）
 - ・ 2 級土木施工管理技士又は 2 級建築施工管理技士の合格を通知されている者のうち、合格証明書が交付されていない者（合格通知から 6 ヶ月以内に限る。）
- ② 上記(2)に掲げる工事（平成 19 年度以降の実績でなくても良い）の経験を有する者であること（品質証明員、土木工事品質確認技術者としての経験は除く。）。ただし、発注者から企業に対して通知された評定点が 65 点以上の実績に限る。（工事評定が実施されていない実績や評定点が企業に通知されていない実績にあつては、検査に合格したことを証明する書類又は引渡し完了したことを証明する書類をもって 65 点と見なす。）
- ③ 配置予定技術者と直接的かつ恒常的な雇用関係（3 ヶ月以上）があること。なお、雇用期間が限定されている継続雇用制度（再雇用制度、勤務延長制度）の適用を受けている者については、その雇用期間にかかわらず、恒常的な雇用関係にあるとみなす。
- ④ 工事を受注した場合において、監理技術者が必要となる工事にあつては、配置予定技術者が監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。

(4) 技術力に関する要件

- ①本修繕工事の常用放流設備主ゲートにおける交換部品の納入体制を有すること。
- ②本修繕工事に係る常用放流設備主ゲート全般の検査・試験等に関する自らの体制を有すること。
- ③本修繕工事完成後のアフターケア体制を有すること。

4. 手続等

(1) 担当部局

①契約関係

〒420-0054 静岡県静岡市葵区南安倍二丁目 8 番 1 号
 中部地方整備局 静岡国道事務所 経理課
 電 話：054-250-8901 ， 電子メール：cbr-keisdour@mlit.go.jp

②技術関係

〒428-0402 静岡県榛原郡川根本町犬間 5 4 1 - 3
 中部地方整備局 長島ダム管理所
 電 話：0547-58-1021, 電子メール：cbr-nagashima-soumu@mlit.go.jp

(2) 説明書の交付期間、場所及び方法

交付期間：令和 4 年 6 月 24 日(金)から令和 4 年 7 月 4 日(月)まで
 (土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日 8 時 30 分から 17 時 00 分まで)

交付場所等：上記(1)②に同じ

(3) 参加意思確認書の提出期限、場所及び方法

提出期限：令和 4 年 7 月 5 日(火) 16 時 00 分。

提出場所等：上記(1)②に同じ。

持参、郵送（書留郵便等記録が残るもの）、または電子メール（着信を確認すること）。

(4) 質問の受付期限、場所及び方法

受付期限：令和4年6月30日(木) 16時00分

受付場所等：上記(1)②に同じ。

持参、郵送（書留郵便等記録が残るもの）、または電子メール（着信を確認すること）。

(5) 質問の回答日、場所及び方法

回答日：令和4年7月1日(金)、4日(月)

回答方法等：上記(1)②において閲覧に付する。

(6) 参加意思確認書の内容確認ヒアリングの実施連絡

実施する場合の連絡日：令和4年7月5日(火)

(7) 審査結果通知予定日

通知予定日：令和4年7月12日(火)

通知方法等：電子メールによる。

5. その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 関連情報を入手するための照会窓口 4. (1)①に同じ。

(3) 詳細は「工事説明書」による。

以上

別紙 1

対象設備一覧表

(長島ダム常用放流設備 2号主ゲート)

| NO | 設備名称 | | 規格等 | 備考 |
|----|------|-----------|-------------------------|----|
| 1 | 主ゲート | 高圧ラジアルゲート | 有効径間 5.000m | |
| | | | 有効高さ 6.400m | |
| | | | 扉体半径 11.500m | |
| | | | 水密方式 摺動式戸当り側ゴム連続式四方ゴム水密 | |
| | | | 開閉方式 揺動式油圧シリンダ式 | |
| | | | 操作方式 機側及び遠方操作 | |
| | | | | |